



ふれあい
KORIYAMA
FIRE DEPT. 消防

119

2018年
(平成30年)

vol. 1
(7月)

未来に向けてみんなで
地域防災力を高めよう！



小原田幼稚園のこどもたち

編集
発行

郡山地方広域消防組合消防本部 総務課
☎024-923-1740

check!



フェイスブック



ウェブサイト



QRコードを使って各サイトへGo!!

「こおりやま消防安全・安心基本指針」スタート

「郡山地方広域消防組合総合計画」が昨年度をもって10年間の計画期間を終了したことから、引き続き、将来的にも管内住民の安全・安心を確保するため、柔軟かつ的確に対応できる本組合の新たな方向性を示す総合的な計画として「こおりやま消防安全・安心基本指針」がスタートしました。

本指針においては、人口減少をはじめとする将来的に予見できる課題を見据え、早期に対応することで、地域の安全・安心の確保を推進するため、20年後もあらゆる災害・課題に対応できる強固な消防体制を維持できるよう「本組合の目指す将来像」を定め、この将来像を実現するための3つの柱をキーワードに、実効性のある推進事業を進めてまいります。

将来の方向性

本組合の構成市町（郡山市・田村市・三春町・小野町）においても人口減少や高齢化が推測されており、東日本大震災の教訓等を踏まえ、今後危惧される大規模災害などに対応できる自助、共助の育成指導に取り組み、災害に強いまちの実現と多角的な分析と創意工夫による予防消防と予防救急に取り組むなど安心して暮らせるまちの実現を目指します。

また、従来の慣例に捉われない消防行政の在り方を検討し、積極的に行財政改革を推進するとともに複雑化・多様化する災害に対応するため、計画的に消防力の維持向上を図り、災害への強い対応力を備えた信頼される消防となるため、総合的な組織力の向上を将来の方向性としします。

本組合の目指す将来像

「いのちと心を 未来につなげる消防」

この将来像は、管内住民のみなさんと共に、尊いいのちと大切な財産を未来の子供たちへ安心して引き継ぐことができる、安全な暮らしを支える消防を目指しています。

将来像を実現するため、3本の柱（3S）を設け、施策を展開します。

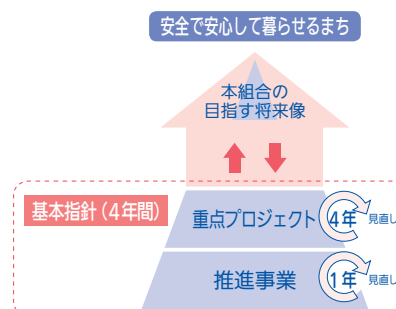
- Safety（セーフティ）…………… **安心して暮らせるまち**
- Strong（ストロング）…………… **あらゆる災害に対応できる消防力**
- Smart（スマート）…………… **最適なマネジメント**



基本指針の特徴

この基本指針は本組合が取り組むべき課題等を抽出し、4年の計画期間で重点的に取り組まなければならない事項である重点プロジェクトと、より具体的な年度ごとの施策を示した推進事業で構成しています。

重点プロジェクトは、4年ごとに見直し、推進事業は、4年間の見直しをもって取り組むこととしますが、社会情勢の変化や施策の効果性などを踏まえて毎年見直すこととします。



Safety (セーフティ) 安心して暮らせるまち



▶ 火災ゼロ対策

火災の発生は減少傾向にありますが、建物火災による死者は、後を絶たない状況です。

火災の原因究明率を上げ、火災の発生傾向から予防策等を効果的に発信するとともに、事業所等における防火・保安体制の強化を図ります。



火災原因調査の様子

● 推進事業

- ・火災原因調査体制の充実強化事業
- ・火災予防対策の推進事業
- ・防火対象物等の安全対策強化事業

▶ 消防法令違反対象物の是正

防火対象物に対し、年間査察計画に基づいた定期的な立入検査を実施することで、消防法令違反対象物の是正を図ります。

また、違反が是正されない場合は、速やかに当該対象物の公表及び違反処理に移行し、防火管理業務の適正化を図ります。



立入検査の様子

● 推進事業

- ・違反処理体制の充実強化事業

▶ 救急車の適正利用

救急車を利用するに及ばないけがや病気の予防に関する情報を効果的に住民へ提供し、救急出動件数の抑制を図ります。

また、応急手当講習の普及により救命率の向上を図ります。



応急手当講習の様子

● 推進事業

- ・予防救急推進事業
- ・応急手当普及啓発活動推進事業

Strong (ストロング) あらゆる災害に対応できる消防力

▶ 現場活動力の強化

複雑化・大規模化する火災や自然災害、さらには2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会などで懸念されるテロ対策など新たな消防需要が求められている中、先進技術を駆使した消防活動や訓練・教育体制の検討を図ります。



NBC対応訓練

● 推進事業

- ・救急業務高度化推進事業
- ・最新技術を活用した消防活動検証事業
- ・消防通信ネットワークと指令体制の充実強化事業

▶ エキスパートの育成

消防隊の強化、指導救命士の養成、予防要員の育成など、各分野における専門的な知識・技術が求められていることから、派遣研修・職場内研修の充実による消防力の維持・強化を図ります。



救急活動訓練

● 推進事業

- ・人材育成・開発事業
- ・予防要員の育成事業
- ・消防活動能力向上事業

▶ 地域防災力の充実強化

大規模災害に備えて、消防団を中核とした地域の総合的な防災力の向上が求められている中、関係機関との役割分担・連携強化により地域防災力の充実強化を図ります。

また、消防団や自主防災組織等の育成に係る指導・訓練機会の充実を図ります。



消防団員による救助訓練

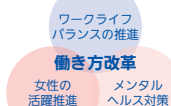
● 推進事業

- ・防災関係機関との連携強化事業

Smart (スマート) 最適なマネジメント

▶ 働き方改革の推進

職員一人ひとりが、仕事にやりがいを感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、事務事業のマネジメントや職員のメンタルケアの充実を図り、魅力ある職場環境を醸成します。



● 推進事業

- ・ワークライフバランス推進事業
- ・メンタルヘルス対策事業

▶ 社会情勢に応じた施設等の管理

消防庁舎の約7割が建築から35年以上を経過していることから、計画的に補修を行い、職場環境の改善を図ります。

また、消防車両についても計画的な更新により消防力を維持します。



消防ポンプ自動車

● 推進事業

- ・施設の長寿命化事業
- ・消防車両の整備管理事業
- ・コストスリム化事業

▶ 将来に向けた組織の検討

将来的に人口減少が予想されている中、住民・地域のニーズを踏まえた費用対効果のある持続可能な組織のあり方を検討します。

また、各業務運営の活性化・効率化を図るため事務事業の見直し・検討を図ります。



● 推進事業

- ・組織カイゼン推進事業

※ 詳しくは郡山地方広域消防組合ウェブサイトをご覧ください

郡山消防

検索



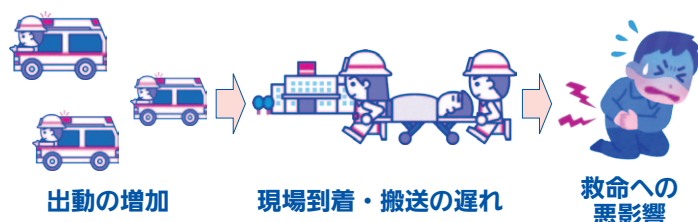
みんなでつくろう！『予防救急の輪』

救急出動が増えています

高齢化などの影響により、管内の救急出動は増加しており、昨年一年間では、過去最多の17,549件に出動し、15,841人を搬送しました。

本組合の推計では、高齢化の一層の進展や社会情勢の変化などにより、ますます救急出動は増加し、2040年には、2010年からおよそ2,000人増加した17,100人になることが予測されます。

救急出動が増加することで、現場到着の遅れなど救命に関わる大きな支障がでるおそれがあります。



予防救急＝病気・けがの予防

『予防救急』、なじみのない言葉ですが、わかりやすく表現すると『病気やけがの予防』です。

救急車が必要な病気やけがの中でも『防げる病気・防げるけが』があります。病気やけがを事前に防ぐことで、増え続ける救急出動を抑制し、一分一秒でも早く病院に搬送しなければならない危険な状態にある方のところへ、出動できるようにするための取り組みです。

本組合では、病気やけがを予防するためのポイントなどをお知らせしています。

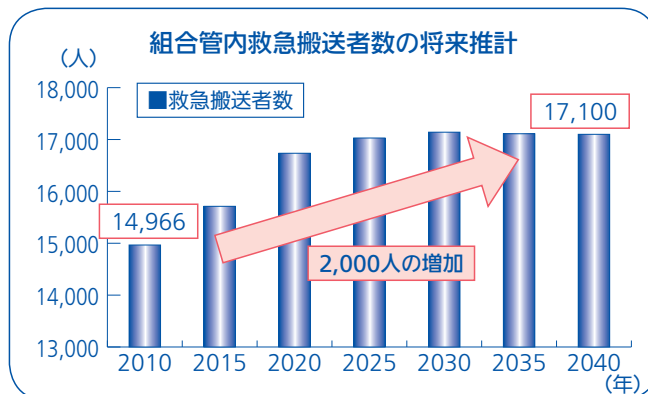
住民のみなさん一人ひとりが予防救急に取り組むことで、大きな力となり、大切な命を救うことにつながります。

たとえばこんなこと・・・

- 身の回りの整理整頓
⇒ つまづき・転倒の予防
- 手洗い、うがい
⇒ 感染症の予防
- 調理・食べ方の工夫
⇒ 窒息の予防



「こんなこと？」と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、日ごろのちょっとした注意、気づかいで防げる病気やけがは多くあります！
私たちと一緒に安全で安心して暮らせるまちを目指しましょう！



高齢化が進むことで、救急出動はこれからも増え続けることが予測されているんだ。

夏の予防救急

熱中症の予防



例年多くの方が救急搬送されていて、重症化すると命に関わる場合があります。

気象庁の発表によると、今年の6～8月の平均気温は、例年より高い見込みとなるため、一層の注意が必要です。

湿度が高い日も要注意！

熱中症予防のポイント

のどがかわいてなくても



帽子や日傘で日ざしをさえぎろう



エアコン、扇風機をしよう



体調に異変を感じた時は早めに休息を



知っておこう！重大な病気やけがの可能性がある症状

下の図のような症状があるときには、重大な病気やけがの可能性あります。あてはまる症状がある場合には、すぐに119番通報をしましょう。

おとな

顔

- 顔半分が動きにくい、または、しびれる
- ニコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくく、うまく話せない
- 見える範囲が狭くなる
- 突然、周りが二重に見える
- 顔色が明らかに悪い

手・足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないぐらい急にふらつく

胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2～3分続く
- 痛む場所が移動する

おなか

- 突然の激しい腹痛
- 激しい腹痛が持続する
- 血を吐く
- 便に血が混ざるまたは、真っ黒い便が出る

●意識の障害

- 意識がない（返事がない）またはおかしい（もうろうとしている）
- ぐったりしている

●けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

●けが・やけど

- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

こども（15歳以下）

顔

- くちびるの色が紫色
- 顔色が明らかに悪い

胸

- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しそう
- 呼吸が弱い

手・足

- 手足が硬直している

頭

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

おなか

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがる
- 嘔吐が止まらない
- 便に血がまじっている

●意識の障害

- 意識がない（返事がない）またはおかしい（もうろうとしている）

●けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

●飲み込み

- 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない

●事故

- 交通事故にあった（強い衝撃を受けた）
- 水におぼれている
- 高いところから落ちた

◎その他、お母さんやお父さんから見て、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

※総務省消防庁「救急車適正利用リーフレット」から引用

困ったときは…

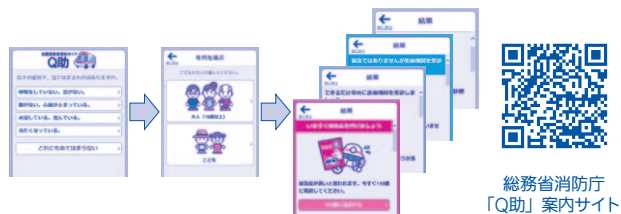
急な病気やけが、上の図のような症状はないけれど、不安なときは、次の相談窓口などを利用しましょう。



全国版 救急受診アプリ Q助

症状を画面上で選択していくと、緊急度に応じたメッセージ（「いますぐ救急車を呼びましょう」、「緊急ではありませんが医療機関を受診しましょう」など）が表示されます。

その後、119番通報、医療機関、交通手段の検索を行うことができますようになっています。



総務省消防庁「Q助」案内サイト

福島県こども救急電話相談

夜間、こどもの具合が急に悪くなったとき、医師や看護師などから、こどもの状況に応じた家庭でできる対処法などのアドバイスを受けることができます。

また、必要があれば受診可能な医療機関の案内をしてくれます。

- 相談時間
毎日
午後7時から翌朝8時まで
- 窓口電話番号
携帯電話、固定電話（プッシュ回線）からは
#8000
固定電話（ダイヤル回線）、ひかり電話、IP電話など、
「#8000」につながらない場合には
024-521-3790



※詳細は福島県のウェブサイトをご覧ください。

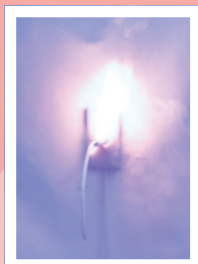
火災ゼロ NEWS

「火災予防は、一人ひとりの心から」

安全で安心な暮らしをサポート！
火災予防に関する様々な情報をお届けします

あなたの家に潜む、**火災危険！** 少しの**注意**で防ぐことができます

トラッキング現象



コンセントまわりにほこりや湿気が溜まることで発生するおそれがあります！

電気機器を使用していない時でも発生してしまう恐ろしい現象です！

火災発展危険 大

対策

- ・コンセントまわりにほこりを溜めない。
- ・使用していないコンセントは抜いておく。
- ・コンセントまわりに燃えやすい物を置かない。
- ・古い電源タップは使わず、トラッキング防止機能の付いた製品を使用する。

配線のショート



電気機器のコードを束ねて使っていたり、家具など重いものの下に挟まっていたりすると配線に負荷が掛かりショートするおそれがあります！

出火予測困難 大

対策

- ・コードを束ねたまま使用しない。
- ・コードは家具の下などを通さない。
- ・コードを無理に引っ張らない、折り曲げない。
- ・安全ブレーカー（短絡保護機能付）を使用する。

こんろ



料理中、火を消さずに、その場を離れたことで火災に発展するおそれがあります！

人のうっかりミスで発生する建物火災第1位です！火力や鍋の内容物によっては5、6分で火災になることも！

ヒューマンエラー 大

対策

- ・こんろの使用中はその場を離れない。もし離れるときは必ず火を消す。
- ・こんろ周りに燃えやすいものを置かない。
- ・油污れはそのままにせず掃除をする。
- ・もしものために消火器を備えておく。

たばこ



電子たばこが増えてきましたが、毎年火災原因の上位となっています。

「無炎燃焼」という炎を上げずに燃焼する特徴があり、布団などに落ちると、1時間以上経過後に発火し、火災になることがあります。

気付かず火災発生 大

対策

- ・たばこのポイ捨ては絶対にしない。
- ・寝たばこは絶対にしない。
- ・火がついたままのたばこを放置しない。
- ・灰皿には水を入れておく。
- ・吸い殻は水に浸けてからゴミに捨てる。

火災の発生状況は減少傾向に、死傷者は後を絶たず…

2017年（平成29年）中、火災は106件発生しました。過去5年間で最も少ない火災件数を記録しましたが、火災による死者の数はほぼ横ばいとなっています。火災により亡くなる方の6割以上は高齢者です。

そのほとんどが逃げ遅れによるもので、万が一に備

えて住宅用火災警報器の設置が必要です。

また、出火原因が「放火・放火の疑い」による火災は依然として全国的にも上位を占めており、地域ぐるみで「放火されない環境づくり」を目指す必要があります。一丸となって「火災ゼロ」へLet's go!

つたえる 予防 びる ば

火災 予防の原点 類似 防止

火災は、大切な命や財産を一瞬にして奪ってしまう恐ろしいものです。

我々消防は、その「発生してしまった火災」から、皆さんの命や財産を守るという使命のために日々活動していますが、何と言っても最善の方法は「火災を発生させない」ことにあります。

まさに、火災ゼロです。

「火災を発生させない」ためには、「発生してしまった火災」の原因を究明し、発生させない対策や不良製品

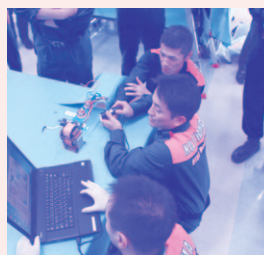
の改良などを行う必要があります、それらの基礎となるのが「火災原因調査」です。

「火災原因調査」は、消防・救急・救助活動などとは違い、住民の皆さんの目に触れる機会はほとんどありません。

しかし、火災の原因を究明し、類似火災を防止するという目的で行う「火災原因調査」は、火災ゼロに向けた火災予防の原点であり、皆さんの安全で安心な暮らしをサポートしています。

このコーナーでは、郡山消防が行っている火災ゼロに向けた様々な活動をお伝えします。

火災が鎮火した後、焼け跡に残る、わずかな情報を基に出火原因に繋がる手掛かりを探します。繊細かつ根気のある作業です。
(写真右)



製品からの出火が疑われるときは「鑑識※」を行い、その製品の内部まで詳細に調査します。電気などの専門的な知識が必要となります。
(写真左)

※火災現場で出火原因に関係する製品などを持ち帰り、電子顕微鏡などの資器材を使用して詳細に観察し記録すること

いざ! 防 災

— 使える防災情報コラム —

「てんぷら鍋の油に火がついた」

— もしも、鍋に火がついてしまったら —
一番有効な消火法は、強化液タイプ*1の消火器を使用することです。スプレータイプの小さなものでも強化液を使用したものなら有効です。

粉末タイプ*2の消火器も有効ですが、粉が舞い視界が悪くなります。

— もしも、消火器などがなかったら —
鍋を覆える大きめのタオルを水に浸け、かたく絞り鍋全体を覆うように被せることで消火できます。

この時、鍋に近づかなければならないため、火傷に注意が必要です。

また、鍋の温度が下がる前にタオルを取ってしまうと、再び火がつくおそれがあります。



慌てないことが大事ですね

— 絶対にやってはいけないこと —

それは、「水」をかけることです。消えないばかりか、火のついた油が飛び散り火傷を負ったり、火災が拡大したりするおそれがあります。

同様に、座布団や毛布をかけることも厳禁です。一時火が消えたように見えますが、火は消えてなく、被せたものに火が移ってしまい、被害が拡大してしまいます。

知っているという方も多い反面、これらの誤った消火法による事故は後を絶ちません。

— 炎が天井まで上がっていたら —

消火器を使っても火を消すことはできませんので、避難を優先して下さい!

何よりも大事なのは、**命**ですよ



もちろん、**119番通報**も忘れずをお願いします。



お兄さんと一緒に

防火体操

踊りませんか?

避難の基本的な動作を簡単な踊りで覚えましょう! 火災予防イベントで活躍中! 消防のお兄さんです。保育園、幼稚園など出張体操※も行っています。



2代目お兄さん

※詳しくは郡山消防署予防係までお問い合わせ下さい。

☎ 923-1213

*1 炭酸カリウムの水溶液で、冷却と抑制（負触媒）効果を持つ

*2 リンが配合された粉末で、抑制と窒息効果を持つ

集中豪雨や台風時の大雨に備えましょう

近年、局地的に短時間で多量の雨が降る「集中豪雨」が増え、全国各地でたびたび水害や土砂災害などによる被害が発生しています。

浸水やがけ崩れなどの危険から身を守るには、日頃からの備えが必要です。

☑ 平常時の心得チェックリスト

- ☐ 避難場所や安全な避難ルートを家族で確認しましょう
- ☐ 非常時の持ち出し品を準備しておきましょう
- ☐ 普段からテレビやラジオで気象情報をこまめにチェックしておきましょう
- ☐ 低い土地では「土のう」や「防水板」を用意しましょう



発令される避難情報について確認しましょう

避難準備・
高齢者等避難開始

避難勧告

避難指示
(緊急)

- ・避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は避難を開始しましょう。
- ・その他の人は、避難の準備を整えましょう。

- ・速やかに避難場所へ避難をしましょう。
- ・外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所に避難をしましょう。

- ・まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難をしましょう。
- ・外出することでかえって命の危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

※必ずしも、この順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。

※避難情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

郡山地方広域消防組合職員募集

～職員採用候補者試験のお知らせ～

(平成31年4月1日採用予定)

- 募集人員 13名程度
- 受験資格 平成5年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた方（学歴は問いません。）
- 申込用紙 最寄りの消防署等で7月1日(日)から配布します。郵便による請求、インターネットによる申込みなど詳しくは、本組合ウェブサイトをご覧ください。
- 受付期間 平成30年7月20日(金)～8月31日(金)
※インターネットによる申込みは8月17日(金)まで
- 第一次試験 日時：平成30年9月23日(日)
会場：郡山地方広域消防組合消防本部
- お問い合わせ 消防本部総務課 ☎024-923-1708



平成29年度の情報公開制度と個人情報保護制度の運用状況

情報公開制度

実施機関	請求	全部	一部	不開示	取下げ
管理者	1	1	0	0	0
消防長	3	1	2	0	0

任意開示申出

実施機関	申出	全部	一部	不開示	取下げ
管理者	1	1	0	0	0
消防長	1	0	1	0	0

個人情報保護制度

実施機関	請求	全部	一部	不開示	取下げ
消防長	3	1	2	0	0